

令和5年第11回菊池市教育委員会会議録

日時 令和5年11月20日(月)午後1時30分
場所 キクロス大研修室
出席者

教育長	音光寺 以 章
教育長職務代理者	生 田 博 隆
教育委員	森 智保美
教育委員	渡 邊 和 雄
教育委員	増 永 幸一郎
教育委員	城 聡 子
教育部長	村 田 義 喜
教育審議員	藤 田 英 明
学校教育課長	倉 原 桂 一
生涯学習課課長	川 口 克 明
社会体育課長補佐	大 谷 ル ミ
学校給食管理室長	富 田 信 幸
菊池市公民館副館長	吉 川 良 二
菊池市立図書館館長	安 永 秀 樹
学校教育課指導主事	西 野 浩 史
学校教育課指導主事	清 永 邦 宏
学校教育課課長補佐	岩 根 貴 史

17 / 17人

日 程

1. 開 会
2. 議事録承認
3. 教育長の報告
4. 報告案件
 - 報告第16号 学校プール拠点化に伴う合同授業モデル事業について(学校教育課)
 - 報告第17号 菊池市内小中学校の不登校、いじめの状況(2023年11月末現在)について(学校教育課)
5. その他
6. 閉会
7. 教育委員会各課からの事務連絡等
 - ①行事予定について
 - ②次回の教育委員会議
令和5年12月18日(月)10:00～ キクロス大研修室
 - ③その他

開会

音光寺教育長 皆さん、御起立をお願いします。

ただいまから、令和5年第11回菊池市教育委員会を開会いたします。よろしくをお願いします。

それでは、会議次第に従いまして、会議録の承認についてを議題とします。

教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、令和5年第10回菊池市教育委員会の会議録に記載した事項について、異議はございませんでしょうか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 異議ありませんので、令和5年第10回菊池市教育委員会の会議録については承認することに決定いたします。

次に、教育長の報告を議題とします。私より報告させていただきます。

資料の1ページを御覧ください。

まず、動静について報告します。

10月25日、校長面接、熊本県14市生涯学習課長会議に出席しております。

26日木曜日、泗水小学校B訪問、東京応化工業からの図書贈呈式並びに、理事長の藤嶋さんによる講演会を開いております。北中及び南中校区の小学校5、6年生約390名程度が参加して話を聞いております。科学に関する話で、子供たちも大変興味を持ったようでございました。

10月27日金曜日、旭志中学校研究発表会、大変お世話になりました。夕方、菊池市文化祭の開会式に参加しております。

28日土曜日、白龍旗学童野球大会の開会式が七城グラウンドで行われ、参加しております。

30日月曜日、菊池南中学校B訪問。

31日、熊本県市町村人権教育連絡協議会研修会で、三重県に1日まで行っております。

2日木曜、トヨタ未来スクール、花房小学校で開催されております。

3日金曜日、しすいコスモスマラソンでした。

7日火曜日、泗水東小学校のB訪問。

8日水曜日、B&G全国教育長会議が東京で行われております。

翌日9日、全国都市教育長の理事会があっております。

10日金曜日が、菊池北小学校の総合訪問。

11日土曜日、部落解放第41回菊池郡市小・中・高生交流集会があっております。各地区で行っている学習会の内容等について、子供たちが本当に立派な発表をしてくれました。

12日日曜日、菊池市のSDGsフェスティバルです。旭志小と泗水小と中学校、高校が発表して、大変中身のある発表をしてくれたと思っております。

13日、菊池市読書感想画コンクールの審査。午後から菊池市児童生徒性暴

力等対策連絡協議会が行われております。

14日、市内小中学校長会、菊池の風の授業研究会は花房小学校の5年生の竹津先生が行われました。花房小校区にある企業の訪問をして、その内容を社会科の授業に生かすという、大変すばらしい授業をされました。

15日水曜日、泗水西小学校の研究発表会。

17日金曜日、菊池小学校のNIEの研究発表会。

18日土曜日、菊池市女性の会チャリティのつどいに参加しております。

19日、昨日が、菊池ロータリークラブ小学生スポーツ大会で、モルック大会が行われました。七城小学校が優勝しております。

20日、本日が、庁議と教育委員会の日になっております。

2番目に、小中学校長会議の連絡事項です。

初めにということで、2023みんなのSDGsフェスティバルきくちと、部落解放第41回菊池郡市小・中・高生の交流集会、大変すばらしい発表をしてくれたということで、学校の指導に御礼を申し上げます。

次に、児童・生徒の頑張りということで、3ページに表彰関係がありますけれど、多くの表彰が行われております。

「社会を明るくする運動」熊本県作文コンテストで、菊池南中学校3年生の茂田さんが熊本日日新聞賞を取っております。部活動関係では、県中学校新人体重別柔道大会で、泗水中の住野さんが優勝、菊池郡市中体連駅伝大会で、菊池南中学校の男子が優勝、県大会は12位だったそうです。県中学校新人ソフトテニス男子団体では七城中学校が準優勝で、今度、九州大会に出場予定です。

熊日学生音楽コンクール合唱部門で、菊池南中学校の合唱部が優秀賞を取っております。そのほか、心のきずなを深めるための標語奨励賞を七城小学校の隈部さんが受賞。県の発明工夫展でKKT賞を泗水小学校の6年の平井さん、旭志中学校の2年の井上さんが受賞しています。多くの子供たちが県での表彰を受けておられます。

次に、優秀教員ということで、花房小学校の田尻先生が文部科学大臣表彰を受けております。同じく花房小の竹津先生が県の優秀教員のフレッシュ部門で受賞をされています。とてもすばらしい活躍だと思います。

次に、次年度の方向性ということでお話をしております。

ESDの取組をさらに推進するということで、ESDティーチャープログラム、奈良教育大と連携した取組を来年度も続けていきたいこと。それと、今行っている、今回みたいな取組を発表する場を児童生徒並びに教職員にも来年度はやっていこうかなと思っております。

人権教育主任研修会も来年も年3回継続していきます。

次に、学力向上と授業改善というところで、西留先生の指導を継続して行う。それと算数・数学、英語を強化するというので、ALTを1日在籍できるようにしておりますので、授業以外の活用等についても実績を残していただきたい。学習発表会で英語スピーチや劇など、それから英検の合格者数を増やす方向で取組をお願いしたいと話をしていきます。読解力向上の取組として、よむY

OMUワークシートというものが読売新聞から出ておりますので、これを小学校5年生と中学2年生、前期15回分、1人当たり300円ですけれども、これを市で補助するということで考えております。無料体験がありますので、今年度中にこれを実施したいということで話をしています。

次のページのNIEの推進、菊之池小学校がすばらしい発表をしてくれましたので、次年度も、ほかの学校が熊日と連携してNIEの研究をしていただきたいということをお願いしております。

働き方改革としまして、5時間授業の週2回を次年度も継続します。

早寝早起き朝ごはんの推進を次年度ぜひ行いたいと思っています。基本的な生活習慣の維持・向上、定着を図るために、本年度中に1回実態調査をして、研究指定に手を挙げて、できれば市全体で取組ができたらなというふうに考えております。

体験活動の推進としては、竜門ダムの見学とカヌーのレガッタ体験を来年度ぜひ行いたい。溪谷の散策や、サッカー場の利用、それから、現在、地元の工場等の見学も行ってもらっていますので、さらにこれを進める。それから、郷土の歴史や地元の史跡を学ぶ活動もさらに深めていきたいと考えております。

次に、STEAM教育の推進ということで、現在、芸術体験として小学校3年生は演劇鑑賞をしておりますし、今年は大地のメモリア等の取り組みを行っていますので、また、そういった芸術体験をできるならと考えております。少年少女発明クラブを来年度創設というところで考えております。角屋重樹さん、広島大学の名誉教授に昨年講話をしていただきましたので、来年度は、理科の授業の指導もお願いしたいと考えております。

菊池の伝統芸能の発表の場の設定ということで、生涯学習課が今年度計画をしていただきました。伝統芸能を知る機会を持ちたいと考えております。

来年度は中学校の教科書の採択がありますので、その点の協力をお願いしております。

来年度、合併した市政の20周年ということで、色々なところで学校にお願いすることがあるという話をしております。

連絡事項ということで、人事異動については次年度の構想を校長がしっかり考えていただきたい。学校の強みやよさ、そして、どんなリーダーの先生がいらっしゃるか、そういったことを考えて人事異動を行うように話をしております。

また、パイプの詰まりがないようにということでお願いしております。3年再配で出られた力のある先生方がこちらに戻っていただけるようにアプローチをかけていただきたいと話をしております。

安心、安全の学校づくりのためにということで、インフルエンザがはやっております。七城中学校3年生が、最初1クラス、次のクラスもなりましたので、学年閉鎖みたいな形になってしまいましたけれども、まだまだ増えているということで注意喚起をしております。

学力向上については、県学力・学習状況調査が12月の初めにありますので、

定着率が40%未満の児童生徒への対応を確実に行っていただくようお願いしております。

いじめ・不登校の対策については、いじめの早期発見、早期対応、心のアンケートからの面談をお願いしております。

人権啓発については、人権子ども集会のオンデマンドの活用をお願いしております。

次に、不祥事防止、それから働き方改革の推進をお願いしております。特に、労働安全推進委員会を年内に必ず1回は行っていただきたいということで話をしております。

今後の予定としましては、21日、明日が、花房小学校のB訪問。それと市議会の月例会が行われます。

22日、市長記者会見、行政改革推進本部。

25日、キクロスまつり。その中で、読書のミリオネア表彰を行います。

28日から市議会の開会。

12月2日、菊池ふるさとかるた大会、これは4年ぶりですね。コロナ禍でできていませんので4年ぶりの開催になります。

3日、城山の日。

4日、市議会予算決算常任委員会、管内四者人権・同和教育研修会があります。

5日、管内教育長会議。

6日から8日、市議会の一般質問。

9日、菊池市人権フェスティバル。

10日、きくちアートマーケットということで、色々な美術家の方が集まって、キクロスでそういう体験をさせていただくということです。

11日、12日が、市議会の常任委員会。

13日が、市内教頭会議と教育支援会議。

15日が、ESDティーチャープログラムとプラチナの発表会を予定しております。

16日土曜日が、キクロスカレッジ閉校式。

18日が、菊池市議会予算決算常任委員会と教育委員会が予定されております。

以上です、今の報告について何か質問等ございませんでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では、ないようですので、これで教育長の報告については終わります。

それでは次に、報告案件に入ります。

報告第16号、学校プール拠点化に伴う合同授業モデル事業について、説明を事務局よりお願いいたします。

倉原課長。

倉原学校教育課長 学校教育課からです。よろしくお願いいたします。

報告第16号、学校プール拠点化に伴う合同授業モデル事業について報告させていただきます。

資料1ページになります。

目的としましては、記載のとおりで、学校プール施設の将来的な維持コスト削減のため、モデル事業を実施するものでございます。

今年度におきましては、花房小学校と戸崎小学校の5、6年生で、2回ずつ南中プールで授業を実施しております。その中で、1回につき2時間90分の中で、移動、着替え、授業を実施。実質の指導時間はいずれも60分程度となっております。

効果としましては、天候に左右されずに授業時間が確保できるということです。この実験をしている際に大雨で雷が鳴って、とても学校では授業ができないような天候でしたが、このときは南中プールを使うことでスムーズに、計画変更もなく授業ができたところでございます。

それから、南中プールの場合には監視員が2名いるため、学校プールよりも人数が多くなりますので、学校の先生合わせて4名で対応しておりました。そういうところからいきますと、安全な状況での授業が可能という効果が現れております。

課題としましては、移動時間が発生し指導の時間が短くなるため、短時間で目標の泳力まで到達させる必要があるというところが出ております。また、南中のプールには小プールがないため、低学年の指導時には水の深さの調整が必要になってくるところでございます。

来年度におきましては、花房小、戸崎小を引き続き南中プールで、新規として、泗水小学校を泗水B&Gプールで、全授業対象のモデル事業を実施したいと考えております。令和7年度におきましては、花房小、戸崎小、泗水小を本運用として、他校でモデル事業を実践したいと考えております。

3番目、令和6年度の事業費としましては、先ほど申しました課題の中で、南中プールには小プールがないというところからプールフロアを購入します。これは水深を調整できるものでございます。水泳の指導補助の業務委託、移動用のバスの使用料、これらがかかってまいります。ランニングコストとしましては約200万円程度かかる予定でございます。

これは参考ですが、令和6年度から実施するに当たりまして、不要となる3校の合計事業費、プールのろ過機の保守点検業務とプール用の塩素購入が49万5,000円の減、また、減価償却としまして、長寿命化計画による改修や建て替え等を行わない場合、年間にすると約330万円の減、拠点化による事業費から差し引きますと年間で約179万5,000円のコスト削減につながっていくという見込みが出ております。

以上、報告を終わります。

音光寺教育長 では、ただいまの報告について、質疑及び御意見等ございますでしょうか。
そこに書いてありますが、指導の質を向上させる必要があるというところがありますので、ここで先ほど提案がありました3番の水泳指導補助業務を委託するという形で、水泳協会や民間に指導を委託するという方向で検討しております。

森委員。

森委員 旭志小は学校でプールをしていて、夏休みはもう学校プール使わなくてB&Gになっているんですよ。それが一つ。

それと、泗水西や泗水東も小規模校ですけど、それぞれの学校でやるということですか。

音光寺教育長 倉原課長。

倉原学校教育課長 先ほど申しました6年、7年の計画の後に、7年度以降で他校についてもモデル事業に加えていきたいと考えております。

音光寺教育長 生田委員。

生田委員 この3校を先行するというのは、この3校が建て替えの期限が早いということですか。

音光寺教育長 倉原課長。

倉原学校教育課長 花房小と戸崎小におきましては、老朽化が進んでいるというところで、現在モデル事業を行っておりまして、泗水小学校からは、ぜひB&Gのプールで行いたいという提案があっておりまして、今後、進めていこうというところで協議しております。もともとは花房小と戸崎小を本格運用というところで進めていく予定でした。

音光寺教育長 よろしいですか。

生田委員 はい。

音光寺教育長 ほかにございますか。

増永委員。

増永委員 審議員にお答えいただければと思うんですが、これでいくと小学生の体育の中でのプールの授業時数、水泳の授業時数、それが確保できるかどうか1点です。どうしても実質の指導時間が60分という形でしてありますので、それ

を2回ずつするというのであれば120分の時間しか確保できないことになるわけですから、その辺がどうなのかということが一つお尋ねです。

それと、モデル事業としてされますけども、行く行くはもうそれぞれの学校のプールを廃止してこの方法でいくというふうに捉えていいのかどうか。そこについて、課長、お願いします。

音光寺教育長 藤田審議員。

藤田教育審議員 1件目は私がお答えします。

実質の指導時間は60分程度というふうになりますので、2時間授業を使うというところで、実際のプールの指導時間は少し減ることにはなるかなと思いますが、質的に上げていこうという部分があります。水泳指導補助業務の委託という点では指導者が入りますので、その分、今までなかなか全体を見ることができなかったところも、そこで補充できるというところで、質的にはすごく上がっていくんじゃないかなと思います。

以上です。

音光寺教育長 倉原課長。

倉原学校教育課長 2点目の御質問ですけども、まず小規模校に合わせてというところを考えております。これは、ある程度人数が多いところになりますとどうしても、指導補助業務のランニングコストが多くかかり過ぎて逆転してしまう危険性がありますので、その辺は精査しながら進めていきたいと考えております。

音光寺教育長 指導については各時間の目標に全員が達成できるように指導者を増やす。専門家を入れることによって、それができると考えているところです。

拠点になるところは、例えば、七城は小中一つのプールですので、そのまま、他の地域は、旭志のB&Gと泗水のB&G、南中プール、市営プールを検討しているところです。

ほかにありませんでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 じゃあ、次の報告に移りたいと思います。

報告第17号、菊池市内小中学校の不登校、いじめの状況について。

清永指導主事、お願いします。

清永学校教育課指導主事 本日、西野指導主事が県庁の会議に出ておりまして、まだ不在にしておりますので、私のほうで代わりに報告させていただきます。

それでは、お手元の資料2ページから御覧ください。

菊池市内小中学校の不登校、いじめの状況でございます。

不登校児童・生徒は、10月末現在、小学校40名、中学校111名で計151名です。10日以上30日未満欠席している不登校傾向の児童・生徒は、小学生52名、中学生22名で合計74名です。

10月のいじめの報告は、小学校ゼロ件、中学校1件です。中学校の件につきましては、定期のアンケートにより早期発見されました。友人グループ内における強い言葉がけによって本人が不安を感じているとのことです。現在、担任やSCが相談に乗り、家庭とも連携を取りながら見守りを行っているとのことです。

続きまして、資料3ページを御覧ください。

上のグラフは、教育支援センター各教室の利用状況を示しています。8月末現在で16名の申請があります。内訳は、小学校4年生1名、5年生1名、6年生5名、中学校1年生1名、2年生3名、3年生5名となっております。

4教室の10月の相談件数は、菊池教室55件、七城教室は12件、旭志教室46件、泗水教室18件の合計131件となっております。

利用している児童・生徒のうち7名は指導員の支援と学校との連携により、学校への登校意欲を持ち始めており、学校への登校日数も増えてきております。中には、通級日数がゼロで、学校に1日も休まず登校ができた児童もおりました。個々の支援ニーズは異なりますが、登校への意欲が持てている児童・生徒に対しては自らで予定を立てさせるなどの支援を行うことで改善の傾向も見られているところです。

続きまして、心の教育相談の利用状況です。

10月の心の教室相談件数は、菊池北中は17件、菊池南中38件、七城中12件、旭志中13件、泗水中70件の合計150件となっております。小学校では、教室観察を行いながら気になる児童の情報交換を行ったり、校内の不登校対策委員会と一緒に参加したりしており、中学校では、生徒から直接相談を受け、その相談内容を担任や学年主任と共有して生徒の対応へ当たっております。相談員の声かけによって、教室に入れたり行事に参加できたなどの報告も見られております。

次に、菊池市のスクールソーシャルワーカーへの相談件数となります。

10月は83件となっております。また、学校支援コーディネーターの相談対応件数は、10月が55件となります。現在も不登校児童・生徒は増えておりますが、指導員や相談員等の対応により、個々の児童・生徒にとって一歩前に踏み出せたという報告も見られるようになりました。

また、先ほども述べましたとおり、教育支援センター利用者が学校復帰した事例をはじめとして、統計上の数字には直接表れませんが、例えば、9月から10月にかけて欠席日数が減少した不登校傾向の児童・生徒を調べてみますと、151名中88名が該当し、割合にして58.3%となっております。今後も学校と連携し、少しでも児童・生徒の自立に向けた改善が見られるよう取組を進めていきたいと思っております。

報告は以上となります。

音光寺教育長 では、今の報告について、何か質疑等ございませんでしょうか。
増永委員。

増永委員 不登校の子供たちは相変わらず増えているなという感じがするんですが、具体的な数字はここに上げてありますけれども、不登校になっている子供たち、カウントされている子供たちの中で、実際にはもう現在学校に来ているという子供たちは何人かいますでしょうか。

音光寺教育長 西野指導主事。

西野学校教育課指導主事 失礼します。今の御質問ですけれども、実際に連続欠席が二月以上ゼロというような子供もおります。あとはそれを学校が不登校が完全に改善したというふうに見るかどうかというところの見解はあると思うんですけれども、そのような子供たちもいます。

また、先ほども報告で述べたかもしれませんが、いわゆる教育支援センターに通っている子供でも、今、教育支援センターに朝から行ったらもう、すぐ学校に行くというようなことで、毎日登校できているというような子供たちも出てきていますので、そういった子供たちが前向きになるような事例は数多く見られるようになってきているところでございます。

以上です。

音光寺教育長 数字だけでは見えない部分があります。登校が増えた子が58.3%、約6割の子は登校が増えてきているということで、いい傾向になっています。ただ、今から寒くなるので、そこが減らないように頑張ってもらいたいと思います。
ほかにありますでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では次に、その他に入りたいと思います。
その他はございませんか。

事務局 事務局のほうからはございません。

音光寺教育長 それでは、本日の委員会はこれをもって閉会いたします。
御起立をお願いします。お疲れさまでした。

— 了 —